

(11)

氏名(生年月日)	小 川 健 治
本 籍	オ ガ ヲ ケン シ
学位の種類	医学博士
学位授与の番号	乙第453号
学位授与の日付	昭和56年5月15日
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	胃癌所属リンパ節の機能的, 形態的抗腫瘍性に関する研究
論文審査委員	(主査) 教授 遠藤 光夫 (副査) 教授 石津 澄子, 教授 和田 壽郎

論 文 内 容 の 要 旨

研究目的

胃癌所属リンパ節における抗腫瘍的な免疫動態, とくに非特異的免疫動態を明らかにし, 癌腫の進行度, 転移の有無などとの関連を検索し, 胃癌に対するリンパ節郭清手術の免疫学的意義について検討をこころみた。

研究対象および方法

対象は, 東京女子医科大学消化器病センターにおいて胃癌取扱い規約に定める第3群までのリンパ節郭清手術が行なわれた胃癌症例20例およびその所属リンパ節361個である。また, 胃良性疾患手術症例9例およびその所属リンパ節38個についても同じように検索を加え, 対照群とした。

所属リンパ節の抗腫瘍的な免疫動態を判定する parameter は, リンパ節リンパ球の PHA 幼若化率, T細胞比およびリンパ節反応形態 (Sinus histiocytosis, germinal center hyperplasia, paracortical hyperplasia) について検索した。

結果および結論

1) 癌腫が進行したものほど, その所属リンパ節における抗腫瘍的な免疫能は低下している。

2) 所属リンパ節の抗腫瘍的な免疫能は, 胃癌取扱い規約に定める郭清用リンパ節群別にみれば, 転移の有無にかかわらず第1群, 第2群という癌腫近位のリンパ節においては第3群という遠位リンパ節に比較して低下している。

3) 同一群のリンパ節にあつては, リンパ節の抗腫瘍的な免疫能は転移陽性リンパ節では陰性リンパ節に比較して低下している。

4) 所属リンパ節のリンパ節転移度は, 胃癌取扱い規約に定める郭清用リンパ節群別にみれば, 癌腫近位のリンパ節ほど高い値を示している。

このような結果よりみて, 胃癌所属リンパ節のうち第1群, 第2群リンパ節には抗腫瘍的な意義はなく, 手術中に転移陽性リンパ節を完全に識別できない現在, 第2群リンパ節までの系統的かつ完全な郭清は免疫学的にも必須であると考えられる。また, 第3群リンパ節には抗腫瘍的な意義は認められ, 郭清するか否か, 肉眼的な癌腫の進行度, リンパ節転移度などを考慮して症例に応じた慎重な取扱いがなされるべきである。

論 文 審 査 の 要 旨

本論文は胃癌所属リンパ節における抗腫瘍的な免疫動態を明らかにし, 癌腫の進行度, 転移の有無などとの関連を検索し, 胃癌に対するリンパ節郭清手術の免疫学的意義について検討をこころみたもので, 学術上価値あるものと認める。

主論文公表誌

胃癌所属リンパ節の機能的、形態的抗腫瘍性に関する研究

日本臨床外科医学会雑誌 第42回 第2号
101~113頁 (1981年3月1日発行)

副論文公表誌

- 1) 長期生存した食道肉腫の1例.
外科診療 18 (3) 288~292 (1976)
- 2) 腫瘍免疫へのアプローチ. 癌患者の免疫状態および免疫療法を中心に.
東女医大誌 46 (12) 983~987 (1976)
- 3) 消化性潰瘍に対する外科的治療.
東女医大誌 47 (9) 1069~1075 (1977)
- 4) 十二指腸潰瘍穿孔例の検討.
東女医大誌 47 (10・11) 1174~1180 (1977)
- 5) 進行癌様肉眼所見を呈した早期胃癌の内視鏡的検討.
Progress of Digestive Endoscopy 11 94~97 (1977. 12)
- 6) 小腸悪性腫瘍の4例.
東女医大誌 47 (12) 1412~1417 (1977)
- 7) 胃切除後の愁訴. 胃・十二指腸潰瘍を中心に.
日臨外医会誌 39 (1) 35~39 (1978)
- 8) 胃全摘後の栄養管理.
臨外科 33 (7) 967~972 (1978)
- 9) 食道胃境界領域胃癌の手術. 口側切除線とリンパ節郭清からみた開胸の適応.
手術 32 (8) 843~848 (1978)
- 10) リンパ節郭清に重点をおいた食道噴門癌の手術.
日外会誌 79 (9) 1217~1221 (1978)
- 11) Recidivism of early gastric cancer (早期胃癌再発に関する研究).
Int Adv Surg Oncol 1 157~172 (1978)
- 12) 胃癌に対する術後補助療法の変遷とその成績.
手術 33 (5) 567~575 (1979)
- 13) 外科手術におけるリンパ節郭清の免疫学的背景. 胃癌所属リンパ節の免疫能を中心に.
日外会誌 80 (12) 1407~1411 (1979)
- 14) Surgical Immunology とリンパ系. 胃癌リンパ節転移と細胞性免疫.
外科診療 21 (10) 1193~1197 (1979)
- 15) 精神運動発作として10年間治療をうけていた Insulinoma の1例.
東女医大誌 50 (9) 914~920 (1980)
- 16) 内胆汁瘻を形成していた乳頭膨大部癌の1例.
東女医大誌 50 (10・11) 1012~1016 (1980)
- 17) 脾摘・胆摘を施行した遺伝性球状赤血球症の2例とその家系について.
外科 43 (1) 98~101 (1981)